

鎌倉 パートナーズ



第68号 平成25年(2013年)9月発行(季刊)

鎌倉市市民活動センター広報紙

目 次

認定NPO法人取得	P 2	インターンシップ、ボランティア体験	P 6
登録団体見て歩き	P 3	情報コーナー(ファンド情報 他)	P 7
第1回利用登録団体懇話会開催	P 4~5	センターからのお知らせ	P 8



運営会議が「認定NPO法人」に！！

特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議は6月25日付で、神奈川県知事より認定NPO法人の認証を取得いたしました。

このため、今後当法人に対しご寄附をされた方は、所得税や法人税を納付されている場合は、下記により税額控除を受けることができるようになりました。なお、この寄附金には賛助会員が納付された賛助会費も、カウントされます。

<認定NPO法人の認証取得に伴う寄附金に対する税額控除について>

1. 個人によるご寄附の場合

(1) 所得税

1) 確定申告による所得税の計算は、次の通り行われます。

$$\text{収入} - \text{必要経費} = \text{所得金額} - \text{所得控除} = \text{課税所得} \times \text{所得税率} = \text{算出税額} - \text{税額控除} = \text{所得税}$$

2) 控除の方法は、上記計算式の所得控除と税額控除の何れか有利な方法を選択できます。

① 所得控除による節税額

$$(\text{寄附金の年間合計額} - 2,000\text{円}) \times \text{所得税率} = \text{節税額}$$

② 税額控除による節税額

$$(\text{寄附金の年間合計額} - 2,000\text{円}) \times 40\% = \text{節税額}$$

注) 「寄附金額の合計」は、いずれも総所得金額の40%が上限

・ 税額控除による節税額は、算出税額の25%が上限

・ 所得税率10%の方が年間5万円の寄附をされた場合の所得税から減額される金額の計算例

$$(\text{所得控除}) 50,000\text{円} - 2,000\text{円} = 48,000 \times 10\% = 4,800\text{円}$$

$$(\text{税額控除}) 50,000\text{円} - 2,000\text{円} = 48,000 \times 40\% = 19,200\text{円}$$

(一部の高額所得者を除いては、基本的に税額控除が有利とされています。)

3) 控除のための手続き

控除を受けるための手続きとしては、毎年3月15日を期限とする確定申告が必要です。

給与所得者の方は、勤務先での年末調整では控除されません。このため、税務署から確定申告書の用紙を入手し、源泉徴収票および当法人の寄附金受領証明書により所要事項を記入して、税務署へ提出していただくこととなります。

(2) 住民税

神奈川県に県民税を納付されている方および鎌倉市に市民税を納付されている方は、それぞれ次の税額控除を受けることができます。

・ 神奈川県県民税：(寄附金の年間合計額 - 2,000円) × 4% = 節税額

・ 鎌倉市市民税：(寄附金の年間合計額 - 2,000円) × 6% = 節税額

注) いずれも寄附金の年間合計額は総所得金額の30%が上限

2. 法人によるご寄附の場合

この場合は、「認定NPO法人」への寄附として、一般寄附金の損金算入限度額とは別に別枠の損金算入額が設けられ、具体的には以下のような計算式になります。

$$\text{一般の寄附金に係る損金算入限度額} = (\text{資本金等の額} \times 0.25\% + \text{所得の金額} \times 2.5\%) \times 1/4$$

+

$$\text{当法人への寄附金に係る損金算入限度額} = (\text{資本金等の金額} \times 0.375\% + \text{所得の金額} \times 6.25\%) \times 1/2$$

【優遇措置を受けるための手続き】

確定申告書に所要事項を記載の上、次の書類を添付して税務署に提出する必要があります。

- 1事業年度に支出した寄附金のリスト (寄附金の損金算入に関する明細書)
- 寄附先の法人等が発行する所要事項の記載された受領書の写し

3. 相続、遺贈によるご寄附の場合

相続又は遺贈により財産を取得した方が相続財産の寄附を行った場合、寄附をした財産の価額は、相続税の課税価格の計算の基礎に算入されません。このため、寄附をした財産は、相続税の対象になりません。

登録団体見て歩き

全国訪問ボランティアナースの会 キャンナス

菅原健介氏、33歳。介護福祉活動に大いなる意欲と優しさを持っておられます。

さて、同会の略称キャンナスですが、英語のCanとNurse(出来る事を、出来る範囲でやるナース)との造語で、看護師資格を有する看護師を中心に、組織されています。

活動目的(会則から)は、「相互扶助の理念とボランティア精神に基づき、高齢者や病気・障害を持った方及びその家族の方々が、地域社会でより快適に暮らせる環境づくりに寄与する」。

現在では、ここ鎌倉・藤沢を拠点に北は釧路から南は波照間島(沖縄県)まで、全国約70か所で活動を展開されています。

発足は1996年、その前年に菅原氏の御祖母様が重い病に臥せられ、看護師資格を持つお母様が看護・介護に邁進される中で「こころ」のケアをも重視した、例えば旅行の付添ほか各地域での多面的訪問介護活動をと思い立たれたとのことです。以降、お母様との二人三脚で地域の潜在看護師さん達の掘起し、啓発活動を進めておられます。

東日本大震災には、いち早く「キャンナス被災者支援チーム」を結成し、行政とも連携・補完しつつ支援活動を続けておられます。支援活動を通じてしみじみ思うことは、「ちょっとした“お節介”或いは“顔の見える地域の繋がり”の大切さです」と語っておられます。



(石巻にて)

(他職種・他業種交流会)



同氏はまた、地域の多業種、多職種間での互いの顔の見える繋がりを通じ“地域力”の強化を図りたいとし、「絆の会」を立上げ、毎月、討論集会をこの地で開催しています。同氏は、「目下の処、若年層が多いが今後、熟年先輩の方々の参加を仰ぎ、ご指導を得たい」と仰っています。本記事をお読みいただく皆様、是非一度、菅原氏にご連絡をお願いしつつ。

(取材 金丸)

連絡先：菅原健介 携帯：090-3521-3101

かまくら環境会議

会の活動状況を事務局の松本様から伺いました。

かまくら環境会議は1994年に鎌倉市内で活動している環境保全団体に、当時あった鎌倉市の環境自治体課から呼びかけがあり結成されました。

主な活動内容は、①市内の三河川の環境調査とその河川管理団体との交流、②広町の水質調査及び生き物調査、③海岸調査(水質と海洋生態観察)、④Nox調査、⑤学習会と見学会の開催、⑥会報「Eco-Community」の発行、⑦環境に関する啓発活動や教育活動の実施、⑧鎌倉市との意見交換や提言、以上を運営するための⑨運営委員会を月1回開催しています。

市内三河川のうち、扇川の水質調査と生物調査は隔月の活動ですが歴史は長く当初は地元の人達から特異な目で見られていたのが活動の積み重ねにより関心を持って声を掛けてくれるまでに溶け込み、近年はホテル観察会を開いたり扇川の清掃を行うようになったとのことです。

他の関谷川でも水質の改善が著しく地元の関谷小学校に対しては環境学習を実施することが恒例になっており既に13回(13年)も行われたとのこと、また神戸川でも水質の改善が見られるそうです。

広町の水質調査と生物調査は年一回の夏の活動です。また、海岸調査は和賀江島から腰越までカバーする年に一回の活動です。

Nox調査は年に二回実施し神奈川県に報告するそうです。同会の会報「Eco-Community」は年に二回ないし三回の発行で、既に52号(2013年4月)まで発行されており、扇川の水質調査実施の様様や関谷小学校の環境教育の様子が活写されています。

事務局の松本様は各活動に外部から参加して環境問題に関心を持って頂くことが第一歩ですと話していました。(取材 廣明)

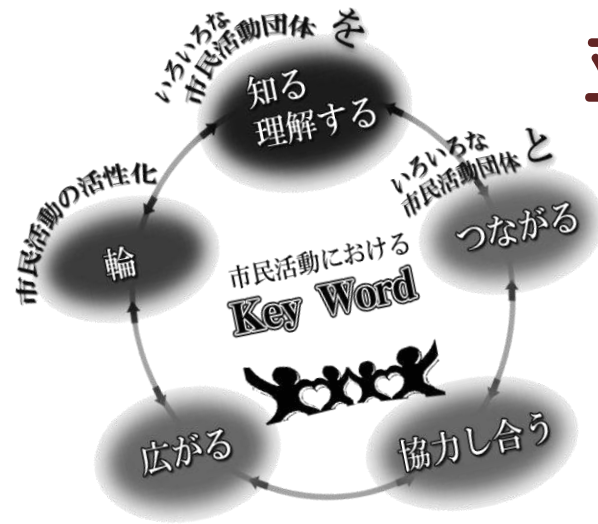
会員数：33名 年会費：1200円

連絡先：同会事務局 松本 (Tel/Fax 467-46-1184)



(調査活動の様子)

平成25年度 第1回 利用登録団体懇話会



- 開催日時 : 7月27日(土) 15:00~17:00 (交流会 17:00~18:30)
- 開催場所 : たまなわ交流センター、NPOセンター大船
- 参加団体 : 27団体 (参加者 55名)

★理事長挨拶

運営会議は、15周年を迎えます。指定管理を受けて8年目。現在431団体が登録しています。登録団体が、互いにコラボしながら活動を広げていけたらと思います。

<大きく変わった点>

- ① 定款変更…登録団体も正会員になれます。センターの運営に携わっていただきたい。
- ② 平成25年6月25日に認定NPO法人の認証を取得しました。ますます魅力のある事業展開をすすめます。また、認定NPO法人になったことで、当法人に寄附をいただくと、所得税・住民税・法人税・相続税についても税制上の優遇を受けることができます(P.2参照)。寄附をしていただくとありがたい。またPRもお願いします。

★事務局報告

鎌倉センターの印刷機の場合移動により、利用しやすくなりました。大いに利用していただきたい。

★運営会議からのお知らせ (各部会より)

<http://npo-kama.sakura.ne.jp/uk/>からご覧になれます。

★かまくら市民活動の日フェスティバル報告

★市民活動の日フェスティバルDVD上映

<http://npo-kama.sakura.ne.jp/uk/>からご覧になれます。

～～参加団体・27団体～～

- ◆図書館とともだち・鎌倉 ◆アムネスティインターナショナル鎌倉グループ ◆鎌倉歩け歩け協会
- ◆自然環境と人間生活を考える会 ◆腰越まちづくり市民懇話会 ◆湘南マリンスクエアダンスクラブ
- ◆社団法人 鎌倉観光フォーラム ◆NPO法人 鎌倉演劇鑑賞会 ◆鎌倉景観研究会 ◆鎌倉・賢治の会
- ◆玉縄歴史の会 ◆鎌倉のごみ減量をすすめる会 ◆鎌倉を美しくする会 ◆財団法人 鎌倉風致保存会
- ◆日本語COSMOS ◆鎌倉ガーディアンズ ◆紙芝居クラブ「虹のひきだし」 ◆鎌倉評論社
- ◆かまくらシニアネット交流会 ◆鎌倉子どもミュージカル ◆鎌倉いち場 ◆玉縄城址まちづくり会議
- ◆NPO法人 鎌倉ガイド協会 ◆NPO法人 子ども大学かまくら ◆NPO法人 輝き・遊っ子楽っ子
- ◆NPO法人 鎌倉広町の森市民協議会 ◆NPO法人 鎌倉成年後見・文化財支援センター

参加者の声

これまで市民団体主催の講演会に参加をしたりブログを拝見する中で質の高さに感心してきましたが、懇話会で主催団体の方々と親しくお話することが出来ました。ごく普通の市民の方々の努力で文化的で豊かな市民生活が営んでいたことを身近に実感したひと時でした。

(鎌倉のごみ減量をすすめる会 鈴木昭正)

「みんな元気で、若い」—利用登録団体懇話会に参加して感じたことだ。この種の会の参加者は女性が大半なのに逆で、男性が圧倒的に多かった。しかも目が輝き、老いを感じさせない。互いに協力し合って、活動の輪を広げていきたい。

(NPO法人 子ども大学かまくら 横川和夫)

今回参加して、皆さんのお話から活動への熱意が伝わってきました。他の団体でも話題が出ましたが、広報部会のWeb講座では大変お世話になり、このようなサポート活動を、センターとしてどんどん進めていただきたいと思います。

(NPO法人 輝き・遊っ子楽っ子 相良 隆)

今回の報告の、「認定NPO法人」は、運営組織・事業活動が公益に寄与していたことの証であり、私たちも誇りに思います。今回参加された団体の方たちとお目にかかれて嬉しく思いました。少子高齢化の中で、活動は違っても、生きがい・教養・人間的なつながりなど、いくつかの共通点もありました。私たちは、スクエアダンスの団体ですが、広く地域の生涯スポーツレクリエーション活動を通じ、健康で豊かな生活の実現のために、皆さんと情報交換をしながら、活動をしていきたいと思ひます。

(湘南マリンスクエアダンスクラブ 石橋幸子)

様々な分野で活動しておられる団体の皆さまから、活動の様子を聞くことができたのは、大変有意義でした。今後は福祉関連の団体とネットワークを作り、市の福祉行政を補完し、協力して高齢者及び知的障害者等を支援していきたいと思ひます。

(NPO法人 鎌倉成年後見・文化財支援センター 小田恭平)

「玉手箱」について (懇話会後の交流会で宝物の展示がありました)

眠っている宝物を寄付していただくと市民活動を援けることになる・・・そのお手伝いをするのが「玉手箱」です。

玉手箱から宝物を手にした新しい人が、募金箱にながしかの志を納めていただくと、それが「かまくらファンド」を通じて市民活動の資金になるのです。

玉手箱はセンター大船に常設していますが、ファンド部会ではフェスティバル会場や登録団体懇話会などの集会の都度、玉手箱の宝物を展示して活動しています。この活動は昨年9月から始めましたが丁度1年になりました。そして皆様のご協力のおかげで、その成果は8万円余りの金額となりました。

今年は当運営会議が認定NPO法人になったことで、自主事業としてのファンド部会の活動も一層大切になってまいりました。頑張ろうと思ひます。

そこで皆様にお願ひがあります。すでに多くの方にはご協力いただきましたが、眠ったままになっている宝物をお持ちでしたら是非ご提供をお願いします。なお9月に限っては中元品の余剰など特別な品でもお受けしたいと思います。

市民活動の一層の活性化のために、皆様のご理解とご協力をお願いします。(ファンド部会 岡田)



イベント・ボランティア情報 (9月～10月)



そこが聞きたい「相続」新税制 平成27年相続税大幅アップ

平成27年から実施の相続税新税制により、家持ち一般庶民でも相続税対象者が大幅増加する時代になるといわれています。「基礎から学ぶ相続税節税対策」を税理士が解説します。

開催日時：平成25年9月22日(日)10:00～11:30
会場：鎌倉生涯学習センター 第6集会室
講師：森下 健一(税理士、社労士、CFP)
参加費：500円(当日)
定員：申し込み先着50名
※電卓をお持ち下さい！
主催：自然環境と人間生活を考える会
後援：鎌倉市教育委員会
申込先：090-4710-3790(渡邊)
E-mail：tm6903@live.jp

第39回 “いじめ”の「こころ・生き方」と“引きこもり”の「こころ・生き方」講座

「自然治癒力・自己治癒力」の免疫力で自己回復する道
ホリスティックカウンセリング(全課程5日間)

開催日時：平成25年9月27日、10月4、11、18、25日(金)
10:00～12:00
会場：臨床共育心理実践研究所(鎌倉市稲村ガ崎3-12-1)
講師：渡邊八郎(日本学校教育相談学会「神奈川」理事長)
参加費：5000円(5回分)※1回1000円ずつでも可
主催：臨床共育心理実践研究所
後援：鎌倉市教育委員会
申込み：(TEL/FAX)0467-23-3828
(メール)下記参照(はがき)上記参照
締め切り：9月25日(水) 必着
E-mail：hachiroh@mx10.ttcn.ne.jp

玉縄アカデミアセミナー開催

開催日：平成25年9月23日(月・祝)
会場：玉縄学習センター 第1集会室
玉縄の緑の将来像 (13:30～)
講師：鎌倉市みどり課職員
歴史セミナー No.18 (15:00～)
「綱成と氏繁の時代とその功績」
講師：伊藤一美(NPO法人 鎌倉考古学研究所 理事)
募集人数：40名(事前予約申込制)
参加料：500円
主催：玉縄城址まちづくり会議
申込・問合せ：TEL/FAX 0467-45-7411(玉縄城址まちづくり会議)
E-mail：artbank21@nifty.com
HP：Facebook玉縄城址まちづくり会議

鎌倉ガイド協会10月の史跡めぐり

秋空のもと いたち川沿いに鎌倉ゆかりの古刹を訪ねる
—證菩提寺本尊と鎌倉都三十三観音霊場の光明寺・永林寺を特別拝観—

実施日：平成25年10月7日(月)/8日(火)/11日(金)/15日(火)
集合場所：JR大船駅北改札下(笠間口)
受付時間：9:30～ 最終出発 10:00
Aコース：大船駅=[バス]=光明寺バス停→光明寺(特別拝観)
證菩提寺(特別拝観)→水辺公園・上郷六反町公園(昼食)
長慶寺(本堂開扉)→皇女御前神社→永林寺(特別拝観)
→栄警察署前バス停(解散14:30頃) ※徒歩約4km
費用：参加費500円 拝観料400円 交通費250円(バス代)

爽秋の鎌倉 日蓮聖人の法灯を守る寺々を巡る
—大巧寺本堂天井絵・妙本寺本堂特別拝観—

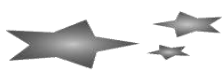
実施日：平成25年10月9日(水)/10日(木)/16日(水)/17日(木)
集合場所：JR鎌倉駅東口(交番横)
受付時間：9:30～ 最終出発 10:00
Bコース：鎌倉駅→大巧寺(天井絵特別拝観)→日蓮辻説法跡
妙本寺(本堂特別拝観)→常栄寺→大町会館(昼食)→
安国論寺→長勝寺松葉ヶ谷草庵跡→長勝寺→
長勝寺バス停(解散14:30頃) ※徒歩約3.5km
費用：参加費500円 拝観料400円

特別コース 鎌倉に徳川ゆかりの女性たちの寺を訪ねる
—大貫昭彦氏の講話と国重文の英勝寺伽藍を特別拝観—

実施日：平成25年10月25日(金)/28日(月)
集合場所：JR鎌倉駅西口(時計台広場)
受付時間：9:00～ 最終出発 9:30(※解散12:30頃 東慶寺)
定員：各日120名
申し込み：ハガキ、FAX、メール(HPの書式使用)
※特別コースのみ、申込みは「往復はがき」(10/15必着)
※コース名、参加希望日、氏名(同伴者も)、住所、電話番号を明記
〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜4-1-1 鎌倉ガイド協会
締切：実施日の1週間前
持ち物：弁当、飲み物、雨具、福寿手帳(お持ちの方)
主催：NPO法人鎌倉ガイド協会
問合せ：TEL 0467-24-6548(9:30～15:30)
FAX 0467-24-6523(第2土曜日は休み)
HP：http://www.kcn-net.org/guide/
※台風、強風、豪雨以外は雨天でも実施しますが、コースを変更することがあります。

第10回 鎌人いち場開催

開催日時：平成25年10月19日(土)9:00～16:00
会場：鎌倉海浜公園(由比ガ浜地区)
主催：鎌人いち場実行委員会
後援：鎌倉市、鎌倉市観光協会
問合せ先：0467-23-3828(渡邊)
HP：http://www.kamandoichiba.com



イベント・ボランティア情報

(9~12月)



内部被ばくと放射線のリスクを考える

～放射線の人体への影響と内部被ばくの測定方法について、わかりやすく講義します～

開催日時：平成25年9月28日(土)15:00～16:30

会場：鎌倉市役所 第3分庁舎 講堂

講師：渡井健男氏(放射線リスクリサーチセンター・東海渡井クリニック院長)

定員：80名

託児：有(要予約 定員10名)

参加費：無料

主催：NPO法人鎌倉市市民活動センター運営会議

後援：鎌倉市

申込・問合せ：TEL 0467-60-4555(NPOセンター鎌倉)

※9月1日より受付開始。事前登録制です。電話にて申込み下さい。

H P : <http://www3.ocn.ne.jp/~npo-kama/>

生涯学習講座

テーマ『人間探求』 —PART XXIII—

開催日時：平成25年10月9、16、23日(各水曜日)14:00～16:00

会場：10/9、23 鎌倉生涯学習センター 4階 第6集会室
10/16 NPOセンター鎌倉 2階

10月9日 介護保険とは(中野さつき、松本彩乃)

[鎌倉市高齢者いきいき課 介護保険担当]

10月16日 在宅介護を終えて(長嶺博子)[鎌倉市在住]

10月23日 人はどこへ行くのでしょうか(富田英雄)[西念寺住職]

参加費：各回500円

定員：各回30名

主催：鎌倉市社会教育推進員OBグループ

後援：鎌倉市教育委員会

申込・問合せ：0467-33-0759(小泉)、0467-47-3238(佐藤)
0467-32-6220(山口)

申込方法：9月30日(月)までに電話でお申し込み下さい。

里山ボランティア募集

自然への思いやりと、里山を知ること子どもたちが、一生の思い出と郷土愛を育む学びの場をしたい。玉縄城址を次世代につなぐ玉縄城里山復活活動を一緒にすすめてみましょう。やれる時だけ、自然の中で気持ちいい汗を一緒にかきましょう。

9月14日(土)8:00～10:00 歴史の道[七曲坂]美化奉仕

9月28日(土)8:00～10:00 太鼓櫓址[市民緑地]美化奉仕

10月12日(土)9:00～11:00 歴史の道[七曲坂]美化奉仕

10月26日(土)9:00～12:00 太鼓櫓址[市民緑地]美化奉仕・野草の植栽

11月9日(土)9:00～11:00 歴史の道[七曲坂]美化奉仕

11月16日(土)9:00～11:00 太鼓櫓址[市民緑地]美化奉仕

服装：長袖、長ズボン(道具は用意しています)

主催：玉縄城址まちづくり会議

問合せ先：TEL/FAX 0467-45-7411(玉縄城址まちづくり会議)

E-mail: artbank21@nifty.com

アムネスティ・チャリティコンサート

天満敦子 ヴァイオリンコンサート in よこはま

～生命と自由への祈りを込めて～

開催日時：平成25年10月6日(日)18:45～(開場18:15)

会場：横浜みなとみらいホール 小ホール

出演者：天満敦子(ヴァイオリン)、石井里乃(ピアノ)

演目：タイスの瞑想曲(マスネ)、シャコンヌ(ヴィターリ)
シチリアーナ(フォーレ)、落葉松(小林秀雄) 他

チケット：3500円(全席指定)

[チケット取扱] アムネスティ神奈川連絡会、

横浜みなとみらいホールチケットセンター、ぴあ

主催：アムネスティ・インターナショナル日本神奈川連絡会

問合せ先：090-6471-7542(アムネスティ神奈川連絡会)10:00～19:00

E-mail: aikana1210@gmail.com

※コンサートの収益金は、アムネスティ・インターナショナルの人権擁護活動に使われます。

神奈川ニューオペラフェスティバル

開催日時：平成25年10月27日(日)14:00～(開場13:30)

会場：鎌倉芸術館 小ホール

第一部 <<絵本音楽>>「ことのぼんば」 <<相模之国音楽絵巻>>

第二部 「サウンド オヴ ミュージック」

第三部 <<自然の詩—小網代(三浦)の森と海>>「地球へ」

<<あきつ(とんぼ)島音楽絵巻>>

出演者：中川西ろみ(フルート)、小川和隆(ギター)

田中直子(うた)、佐野清彦(ふえ) 他

入場料：1500円(全席自由)

[チケット取扱店] 島森書店(鎌倉駅前)

※東日本大震災被災避難者と支援者を無料招待します。

主催：地球音楽園

協賛：東日本大震災 雇用・教育・健康支援機構

問合せ先：0466-33-9677(田中)

AMDA鎌倉クラブ

チャリティーコンサート Vol. 15

東日本大震災復興支援 絆 II

開催日時：平成25年12月1日(日)14:00～(開場13:30)

会場：鎌倉芸術館 小ホール

出演者：白澤みさき(大槌町在住)、崔宗宝(バリトン歌手)

沢木順(鎌倉育ちミュージカル俳優) 他

<箏曲> 富士、エジプトものがたり、万里の長城 他

<白澤みさきとともに> 故郷～、友輝～、南部牛追唄 他

<沢木順とともに> さくら貝の唄、あざみの唄、見果てぬ夢 他

チケット：前売り2500円 当日2900円(全席自由)

[チケット取扱] AMDA鎌倉事務局 090-1999-8540(鈴木)

鎌倉芸術館チケットセンター 他

主催：AMDA鎌倉クラブ

問合せ先：TEL/FAX 0467-24-2969、090-4619-8701(根津)

E-mail: nezur@kamakuranet.ne.jp

インターンシップ

今年、福島県立相馬農業高等学校生徒(東北支援)、神奈川県立金沢総合高等学校教諭、中央大学学生(能村春美さん)のインターンシップ(社会体験研修)を受け入れました。

「鎌倉広町の森市民協議会」、「図書館とともだち・鎌倉」、「短歌サークル プリズム」、「輝き・遊っ子楽っ子」、「かまくらシニアネット交流会」、「NPOセンター鎌倉」での活動を体験されました。

鎌倉広町の森自然協議会のパトロールのお手伝いをし、協議会の方が守っている森の自然を十分に感じることができました。活動範囲も内容も広範囲であることにも驚き、心ない人が標識にいたずらしたり、生態系に手を出したりしていくことに強い憤りを感じました。そのような人を1人でも減らすため、この活動とその実態、協議会の方の「想い」を生徒達に伝えていきたいです。



草刈開始

また、鎌倉市NPOセンターの取組の中で、様々な活動を支援されていることを知ることができました。被災地復興支援の女川カレープロジェクトや、東北の野菜市の誘致活動など、ただ募金するのではなく、フェアトレードのように地元の方中心の取組をされていることがとても印象に残りました。

1日の活動を通して、「何ができるか考えること」、「何かしようという気持ち」、「人と人のつながり」、各々の大切さを感じることができました。日頃の教育活動に活かしていきたいです。

(県立金沢総合高等学校 教諭 岡本 泉)

今回のインターンシップでは、広町の森のパトロールに同行させていただきました。広町の森のような広い自然が、都会にまだ残っていたことにとっても驚きました。

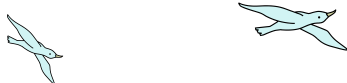
森での作業で、オオヤマザクラのまわりの雑草刈りをしました。草は根本から刈らなければいけなくて、そのコツを掴むのが大変でした。ですが、慣れてくると楽しくて全く苦になりませんでした。刈り終わった後の達成感がとても心地よかったです。森の自然は、約30年にも渡る鎌倉の市民の方々の強い意志と、それに相当する活動の中で守られてきたことを知り、市民の方々はとても逞しく、素敵だなあと強く思いました。また、その意志の強さは、これからの学校生活や進路を決めていくために私自身の力にしていかなければならないものだと痛感しました。

今回のインターンシップでは様々な体験をし、貴重なお話を聞いて、大変有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。(福島県立相馬農業高等学校 飯館校 2年 菅野夏美)



草刈終了

ボランティア体験



体験をした生徒の感想は!!

今年も鎌倉高等学校の生徒が「かまくら学『協働メニュー』」の活動で、地域の方たちの活動に参加しています。

センター利用登録団体13団体が受け入れて下さいました。

「ぼんぼりウォーク」に参加して

「東北支援物産展」 「なごみあるき」に参加して

- ☆買い物という形で東北支援ができるのでこのような活動がもっと増えると思った。
- ☆何か活動を起こすには、天候にも負けない気持ちが必要だと思った。
- ☆普通は通り過ぎてしまうような道も目を働かせて歩いたので、たくさんの発見があり、街並みの様子を知ることができた。
- ☆時代を感じる建物や技術に触れることができた。

(伊藤碧海、安達芽瑠、吉見はな)

- ☆10キロ歩くのは想像以上に大変で、結構疲れたが、歩け歩け協会の皆さんは颯爽と歩いていらしたので驚いた。
- ☆鎌倉は多くの自然が残されていることに気づかされた。



☆鶴岡八幡宮で有名な画家の方が描かれた「ぼんぼり」を見たり、茅の輪をくぐったりして楽しかった。

(川井咲、須河内茉里、郡可奈、加藤菜々子、齊藤愛実、鈴木彩那、八巻千夏、伊藤志帆、原理沙子、中林真菜)

情報コーナー

『NPO支援かまくらファンド』への申し込みを次のとおり募集いたします。
 本年は、「鎌倉青年会議所」様から「まちづくり団体」のためにとご寄附いただいていること及び、当法人が「認定NPO法人」の認証を取得したことにより、助成金枠の増額等の変更があります。
 奮って応募されることを期待しております。(運営会議 ファンド部会)

☆かまくらファンドの概要

- ア) 予算総額：40万円
- イ) 一団体に対する金額
10万円を限度とする。標準額は5万円
- ウ) 優先措置
まちづくり団体を優先的に審査する

☆応募資格

社会貢献的な市民活動を行っている個人及び団体

☆審査会：11月3日(日・祝)

☆回数制限の例外措置

過去に2回助成を受けた団体であっても、新規事業を行っている場合は、応募資格があります。

☆応募受付：9月9日(月)～9月28日(土)

☆申込用紙：NPOセンター鎌倉でお渡しします。
 当センターのホームページからダウンロードできます。

「NPO支援かまくらファンド」情報

市民活動団体と鎌倉市との協働事業

市民提案の協働事業2団体が採択！

8月17日(土)に、「平成25年度市民活動団体と市による相互提案協働事業」の公開プレゼンテーションが開催されました。今年度は、市からの提案事業はなく、3つの市民提案について4者協議(提案団体・担当課・地域のつながり推進課・協働事業推進部会)を行いました。その結果、「町内会ホームページ作成・運営支援事業」と「家庭における省エネルギーへの取り組みを促進する事業」の2つがプレゼンを行い、鎌倉市協働事業選考委員会(学識・市民活動に関し知識経験を有する者、市民、市職員など5名で構成)による厳重な審査の結果、みごとに採択されました。

選考委員から、持続性のある活動を目指すこと、今後の展開のためにモデルケースとして結果報告することなどの条件が課せられました。今後、担当課と協議を重ね、来年度に事業開始となります。楽しみです。

(運営会議 協働事業推進部会)

当センターホームページに「助成金情報」を掲載しています。

募集要項の概要がご覧いただけます。ホームページをご覧になれない方は、センターにお越しいただければ、情報をご提供いたします。また、相談部会では、個別のご相談にもお応えできる態勢を用意していますので、是非ご利用ください。

詳しくは、運営会議ホームページをご覧ください。センターへお問い合わせください。

助成金情報

フェスティバル情報

第16回かまくら市民活動の日フェスティバル

実行委員としてご協力いただけませんか？

来年5月に開催予定の第16回市民活動の日フェスティバルの企画・準備・運営を一緒に行っていただける実行委員メンバーを募集いたします。

今年5月に行われたフェスティバルの実行委員から半数が第16回実行委員メンバーに残りますが、新しい実行委員の方々を迎えてより良いフェスティバルにしたいと思います。

ご協力いただきたいこと

- 催し物の企画および参加団体との折衝
 - ポスター・プログラム等のデザインと制作
 - メディアやミニコミ誌への記事提供
 - 会場配置計画と設営
 - 全体コーディネーションなどなど
- 担当理事：広瀬 (h.k.mitsuyo@m6.dion.ne.jp)

☆ 第1回実行委員会は10月2日(水)18:30からNPOセンター鎌倉で開催します。ご協力いただける方はご参加ください。☆

NPOセンターからのお知らせ

新収図書のお知らせ

～鎌倉センター～

《図書》

◇63人の復興起業家たち

出版：日本サードセクター経営者協会

◇フルコスト・リカバリー（総費用の回収）

著者：後 房雄

《DVD》

◇RING! RING! プロジェクト

企画：公益財団法人 JKA

新規登録団体の紹介（平成25年9月1日現在）

- ☆二階堂親和会：住民の親睦・安全及び福祉を図る（防災訓練・防犯灯のLED化・もちつき実施等）
- ☆鎌倉市地域サポーターアクティブ・プロジェクト：介護予防に関わる事業の企画・製作・推進
- ☆湘南護憲市民の会：憲法の理念を多くの市民に知ってもらうために、学習会や講演会を定期的開催
- ☆青空自主保育 なないろ：園舎を持たず、山や海といった自然の中で思い切り遊ばせながら、子どもたちが自ら育つ力を大切に見守る保育を目指す
- ☆鎌倉・賢治の会：宮澤賢治の作品を通じて市民生活を学び、新たな市民像を求める活動（宮澤賢治に関する講演会、読書会開催）

JR 鎌倉駅地下道ギャラリー展のお知らせ

平成25年12月13日(金)～19日(木)に行われる「JR 鎌倉駅地下道ギャラリー展」への参加を9月24日(火)より受け付けます。

団体宛にお送りする「申込書」でお申し込みください。

土曜日・日曜日・祝日の駐車について

土曜日、日曜日、祝日は、鎌倉市役所の駐車場は有料となっています。

NPOセンター鎌倉で活動される団体のために2台分の駐車場所を用意しています。機材、用紙など重い荷物を持ち込まれる場合、お身体の具合が悪いなど車を利用しないと来館できない場合は、木曜日までにセンターにご連絡ください。

申請受け付けの際、車種、車番をお尋ねしますので、ご了承ください。

時間外利用責任者登録について

時間外での利用ができる団体は、「時間外利用責任者登録」をした会員がいる団体です。1団体、2～3人の方が登録をすることができます。

責任者が交代した場合は必ずセンターに連絡し、新しく責任者になられた方は、必ず講習をお受けください。

新スタッフ紹介

6月より石川夏帆、7月より立木麻子がスタッフとして勤務しています。よろしくお願ひいたします。

平成25年9月1日現在 **利用登録団体数：431団体**

お願ひ 利用登録団体の登録内容（連絡先・代表者・活動内容等）に変更があった場合は速やかに必ずご連絡ください。

発行：鎌倉市市民活動センター
 編集：特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議(認定法人)広報部会
<http://www3.ocn.ne.jp/~npo-kama/>

NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町18-10
 TEL：0467-23-3000 内線2655
 TEL：0467-60-4555（直通）
 FAX：0467-61-3928
 E-mail：npo@chive.ocn.ne.jp



NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台1-2-25
 (たまなわ交流センター 1階)
 TEL/FAX：0467-42-0345
 E-mail：npo2@abelia.ocn.ne.jp